

第3章 計画の目標

1 望ましい環境像

望ましい環境像とは、私たちが望み思い描いている胎内市の環境の将来ビジョンを指します。

本市は、飯豊連峰や楡形山脈、白砂青松の海岸線など豊かな自然を有しています。このような豊かな自然の中で歴史・文化が形成され、人々の暮らしが根付いてきました。

本計画策定にあたり実施した「市民・事業者意識調査」の調査結果によると、多くの市民が本市の有する自然環境のきれいさ・豊かさ、閑静な暮らしに満足しています。しかし、一方でポイ捨て等のごみ問題や外来種問題、鳥獣被害、老朽危険空き家※といった、環境や景観へ悪影響を及ぼす問題が散見されており、美しく豊かな環境を将来世代に引き継いでいくためには、こうした問題の解決に向かって人々が協働することが必要になってきます。

また、近年ではSDGsをはじめ、持続可能な社会の形成に向けた様々な取組が国際的な潮流となっており、私たちが直面している環境課題を持続可能な形で解決するための仕組みや、将来世代へ良好な環境資源を継承していくことを、1人ひとりが考え活動していかななくてはなりません。

そこで、第2次胎内市環境基本計画においても、「望ましい環境像」として、「未来へ繋ぐこの奇跡よどみない美しい環境を守り ともに育てていくまち「胎内」」を継承し、市民への浸透を図るとともに、その実現に向けた環境施策の更なる推進を図ります。

2 計画の基本的目標と施策の方向性

望ましい環境像の実現に向けて、次の5つの基本目標を設定します。

望ましい環境像 未来へ繋ぐこの奇跡 よどみない美しい環境を守り ともに育てていくまち「胎内」

基本目標1 水と緑に恵まれた自然と共生するまち ～自然環境～

基本目標2 よどみなく美しい環境を守り育てるまち ～生活環境～

基本目標3 快適で安全・安心な生活が送れるまち ～社会環境～

基本目標4 地球環境を考え、その保全を考え貢献するまち
～地球環境～

基本目標5 市民・事業者・市が協力し、環境保全を継承するまち
～参加行動～

基本目標1 水と緑に恵まれた自然と共生するまち ～自然環境～

(1) 施策の方向性

胎内市の豊かな自然は、胎内川などの清浄な水や、飯豊連峰や櫛形山脈の森林、白砂青松の海岸線と日本海に沈む美しい夕日などに代表されます。このような豊かな自然は、多種多様な野生動植物が暮らす環境を育み、多様な生態系を形成してきました。

この豊かな自然を守っていくために、山岳地から身近な里山まで広がる森林の植生及び河川・海岸の植生を維持するとともに、開発や未整備により荒廃した森林の復元と再生を図り、また、森林や水辺に生息・生育する野生の動植物を保全・保護し、次の世代に引き継いでいく必要があります。

以上のような観点から、次の個別目標を設定します。

個別目標1 白砂青松・自然公園の保全

個別目標2 森林整備と植生の保全

個別目標3 水辺環境の保全

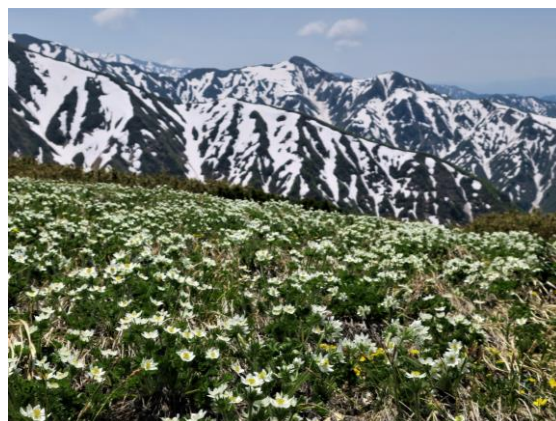
個別目標4 野生動植物との共生

(2) 10年後の姿

- ◇ 市民の多くが自然と共生し、自然の恩恵を受けて生活しています。
- ◇ 美しく豊かな山・川・海が多くの人を惹きつけています。
- ◇ 白砂青松やはまなすの丘、自然公園等の植生が貴重な地域資源となっています。
- ◇ イバラトミヨ等の希少種を含め、胎内市でもとから生息・生育する動植物に市民が理解を深め、保全・保護活動を行っています。



白砂青松の風景



磐梯朝日国立公園の風景
(ハクサンイチゲ群落)

基本目標2 よどみなく美しい環境を守り育てるまち ～生活環境～

(1) 施策の方向性

胎内市の生活環境を保全するためには、私たちを取り巻く様々な環境負荷から市民生活を守ることを第一として、さらには美しい自然環境への悪影響を取り除くことまでを考えていく必要があります。

したがって、市民の暮らしや産業活動によりもたらされる環境負荷を最小限に抑え、胎内川や中小河川、農業用水などの水質保全に努めるとともに、大気や土壌・地下水の保全を図り、安全・安心な生活環境づくりを図る必要があります。

また、生活環境に影響を及ぼす要因として、ごみの不法投棄やポイ捨て、ペットの飼育マナーの不徹底、空き地・空き家問題などがあるほか、畜産系の事業所からの臭気も問題となっており、根本的な解決が望まれています。さらに、ごみの問題に関しては、食品ロスなどのごみを減らし、再使用・再生利用を促す5R※の取組や、適正な処理を通じて、循環型地域社会の形成を図っていくこととします。

以上のような観点から、次の個別目標を設定します。

- | | |
|--------|--------------|
| 個別目標 5 | 環境公害の防止 |
| 個別目標 6 | 環境美化の推進 |
| 個別目標 7 | 循環型地域社会の形成促進 |

(2) 10年後の姿

- ◇ 環境への負荷の少ない生活や環境への影響に十分配慮された企業活動が地域内に浸透しています。
- ◇ ごみに対するマナーが向上し、不法投棄が撲滅され、人々の自発的な環境美化活動が浸透しています。
- ◇ 美しい居住環境が形成されています。
- ◇ ごみ排出ゼロを目指した資源循環型社会が実現しています。



胎内川の風景



海水浴場エリアにおける海岸清掃の様子

基本目標3 快適で安全・安心な生活が送れるまち ～社会環境～

(1) 施策の方向性

市民一人ひとりにとって快適で安全・安心な環境が維持されるためには、人々の暮らしに基づいた適切な社会環境の整備を行うことが不可欠です。田畑や山林が面積の多くを占める農村では、農地や山地の適切な管理・運用や、農地に危害を及ぼす有害鳥獣への対策が人々の快適な暮らしに直結してきます。特に近年では、人へ危害を及ぼす鳥獣が市街地へ出没するようになっており、被害対策の重要性が増しています。一方、人口が集中する都市空間では、住みやすい生活空間の確保や、豪雨災害等の災害に強い強靱なまちづくりを推進することが必要になります。

また、市内には、広大な荘園として知られる奥山荘をはじめ、数多くの歴史的資源や文化財などがあり、歴史景観等を通じて、胎内の歴史・文化の薫る街並みを形成することが求められています。

以上のような観点から、次の個別目標を設定します。

個別目標 8 農村環境の保全

個別目標 9 都市空間の整備

個別目標 10 歴史・文化の継承

(2) 10年後の姿

- ◇ 農地が適切に管理され、美しい農村環境・景観が維持されています。
- ◇ 農地の有害鳥獣被害が抑制され、安全・安心な営農活動が行われています。
- ◇ 野生鳥獣が適切な場所に生息し、人との住み分けがされています。
- ◇ 魅力ある街のたたずまいや景観がまちの資産となっています。
- ◇ 多くの市民が緑豊かな公園や広場を利用し、安全・安心で健康的な生活が確保されています。
- ◇ 豪雨等の災害に見舞われても、良好な社会生活が守られる強靱なまちが形成されています。
- ◇ 歴史・文化に触れることを通じて、多くの市民が郷土への関心や愛着を深めています。
- ◇ 歴史・文化に関心を持つ市民による自主的な取組が生涯学習活動や地域活性化につながっています。



南俣の棚田



乙宝寺の三重塔

基本目標4 地球環境を考え、その保全を考え貢献するまち ～地球環境～

(1) 施策の方向性

地球温暖化の進行が原因となり、世界の各地で気候変動による異常気象や自然災害が多発しています。地球温暖化は、人間活動がその要因の一つとされており、現代に生きる私たちだけではなく、将来の世代にわたって取り組んでいかなければいけない問題です。私たちは、地球温暖化問題に対し、気候変動そのものを抑える「緩和策」とともに、気候変動に関連する災害等の被害を最小限に抑える「適応策」を進めていくことが不可欠です。

また、地球温暖化問題や海洋汚染問題のような世界規模の諸問題は、国際社会が協力して取り組む必要があります。SDGsといった国際的な共通目標の達成に向け、各々が取組に協力し貢献することが求められます。

以上のような観点から、次の個別目標を設定します。

個別目標 11 地球温暖化対策の推進

個別目標 12 海洋汚染防止に向けた取組の推進

個別目標 13 国際的取組への協力

(2) 10年後の姿

- ◇ 省エネルギーの推進と併せて、再生可能エネルギーの導入が進み、温室効果ガスの排出量が着実に減少しています。
- ◇ 市内からの海洋汚染物質の流出が抑制され、市域に清浄で美しい海が形成されています。
- ◇ SDGsの達成に向けた取組が推進され、国際的取組に貢献しています。



海岸沿いの風力発電施設



新潟中条中核工業団地内の太陽光発電施設

基本目標5 市民・事業者・市が協力し、環境保全を継承するまち ～参加行動～

(1) 施策の方向性

環境の保全・再生に取り組むためには、環境の現状を理解し、環境に関する意識を変えていくことが大切です。そのためには、市民・事業者・市による協働体制を確立し、それぞれが環境教育や環境学習などを通じて環境の現状・取組についての理解を深め、良好な環境を次世代に引き継ぐため、積極的に活動していく必要があります。また、活動の周知や情報提供により、多くの市民・事業者へ協力を仰ぐことが大切です。

以上のような観点から、次の個別目標を設定します。

個別目標 14 協働体制の確立

個別目標 15 環境教育・環境学習の実施

個別目標 16 環境情報の収集・発信

(2) 10年後の姿

- ◇ 行政だけでなく地域の課題を自分事として捉える市民や企業が、それぞれの持つ力を活かして環境保全に資する取組に参加・協力しています。
- ◇ 人口減少社会においても自治会・集落の組織的な活動が維持され、まちの活性化に貢献しています。
- ◇ 学校教育や生涯学習の場を通じて、幅広い世代が環境に関心を持ち、自ら進んで学習しています。
- ◇ 多くの市民・事業者が行政等の提供する情報に触れることで、環境に関する理解を深めています。



地域づくり活動発表会の様子
市民と行政との協働取組事例などを発表している



小学生の地引き網体験の様子

3 計画の体系

望ましい
環境像

未来へ繋ぐこの奇跡— よどみない美しい環境を

基本目標

基本目標 1
水と緑に恵まれた
自然と共生するまち
～自然環境～

基本目標 2
よどみなく美しい
環境を守り育てるまち
～生活環境～

個別目標

1
白砂青松・自然公園の保全

【関連するSDGs】

- 3 気候変動に具体的な対策を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 11 持続可能な都市を築こう
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう

2
森林整備と植生の保全

【関連するSDGs】

- 4 質の高い教育をみんなに
- 11 持続可能な都市を築こう
- 15 陸の豊かさも守ろう

3
水辺環境の保全

【関連するSDGs】

- 3 気候変動に具体的な対策を
- 11 持続可能な都市を築こう
- 15 陸の豊かさも守ろう

4
野生動植物との共生

【関連するSDGs】

- 11 持続可能な都市を築こう
- 15 陸の豊かさも守ろう

5
環境公害の防止

【関連するSDGs】

- 3 気候変動に具体的な対策を
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 11 持続可能な都市を築こう
- 14 海の豊かさを守ろう

6
環境美化の推進

【関連するSDGs】

- 3 気候変動に具体的な対策を
- 11 持続可能な都市を築こう
- 12 消費の責任を分かち合い
- 15 陸の豊かさも守ろう

7
循環型地域社会の形成促進

【関連するSDGs】

- 2 質実な食料と農業を確保
- 11 持続可能な都市を築こう
- 12 消費の責任を分かち合い

守りともに育てていくまち「胎内」

基本目標3
 快適で安全・安心な
 生活を送れるまち
 ～社会環境～

8
 農村環境の保全





9
 都市空間の整備






10
 歴史・文化の継承




基本目標4
 地球環境を考え、
 その保全に貢献するまち
 ～地球環境～

11
 地球温暖化対策の推進







12
 海洋汚染防止に向けた取組の推進




13
 国際的取組への協力




基本目標5
 市民・事業者・市が協力し、
 環境保全を継続するまち
 ～参加行動～

14
 協働体制の確立





15
 環境教育・環境学習の実施





16
 環境情報の収集・発信

